



2×4 工法で居住性の高い賃貸住宅 壁・屋根・床にカナダ産 OSB

宮崎県小林市を拠点に、宮崎県、鹿児島県、熊本県といった南九州で住宅づくりを行っているのが、地域ビルダーのバルト。最近同地でも知名度が上がってきた 2×4 住宅に取り組み、カナダ産 OSB を活用して、南九州の気候に合った住み心地のいい住宅を提供している。



カナダ産 OSB を採用して工場で製作された 2×4 壁パネルは、現場での大幅な省力化を可能にする。現場で施工するより精度がよく、高品質の快適な住まいになる。

全面的にカナダ産 OSB を使用

このほど同社が小林市内で手掛けたプロジェクトは、事業主の敷地内に 2 棟のアパートと 1 棟の貸家を建設するもの。このうちアパートは二階建てで、1LDK とサンルームを備えた居室を一階と二階にそれぞれ 3 室ずつ配置する。住み心地の良さを追求するため、床の防音や断熱性といった建物の性能にこだわる。その性能を支えるのが 2×4 工法とカナダ産 OSB だ。事業主の自宅は在来工法ながら、今回の賃貸住宅には 2×4 工法が採用された。



今回のプロジェクトでは、壁 (9mm 厚)、屋根 (12mm 厚)、床 (24mm 厚) と全面的にカナダ産 OSB を使用した。「釘を打った感覚と釘の抜けにくさから、OSB は (他の面材に比べて) 同じ厚みでも強度があるという印象です」と田原剛社長 (顔写真) は話す。ホームセンターでも売られ、そのまま化粧材として使ってもいいくらいおしゃれに感じる建て主が増えていて、OSB の認知度は確実に上がっているという。

快適で強固な躯体にするために

工場でパネル化された躯体は精度が高く、建物の基本性能を高めやすい。カナダ産 OSB パネルに断熱材、ペアガラスの組み合わせで「朝現場に来ると、サイディングを張っていない段階でもあたたかい」(田原社長) ほどだという。

居住性を高めるため、床・天井には上下階の音漏れを防ぐ工夫をした。二階床にも 24mm 厚のカナダ産 OSB を使用し、さらに石膏ボード 2 枚、捨て貼りの合板、クッション付きフローリングを施工した。カナダ産 OSB の厚物を使うことでより強い躯体となり、安心感が増す。



カナダ産 OSB を使い 2×4 工法のアパートを建設

適切な断熱で夏も涼しく

田原社長は、2×4 工法に積極的に取り組む会社に在籍していた経歴があり、数年前に同社を立ち上げてからも 2×4 工法を中心に家づくりを行ってきた。カナダ産 OSB もその当時から使っていて、利点を理解していることから現在でも採用している。

最近では、2×4 住宅は快適という認識が建て主に浸透し、熊本地震で被害が少なかったことも評価されているという。「2×4 住宅は、適切に断熱することで冬暖かく、夏もエアコンを少しつけただけで涼しい住宅になります。南九州は夏が特に暑いので、お客様には断熱が大切だと説明します。地震に強い上に火災保険が安くなり、空調の電気代も下がるので、長い目で見ると 2×4 工法の住宅は安いと言えます」と田原社長。今後もカナダ産 OSB で安全で快適な住宅を提供していく方針だ。

株式会社バルト

本社: 宮崎県小林市堤 2382-31

代表: 田原 剛 (代表取締役)

HP: baruto.jp

電話: 0984-47-5940

2016 年 10 月創業。住宅・店舗・施設などの新築を中心に、リフォームも手がける。